



館報 まつかわ

松川町公民館報
第692号
令和3年7月15日

町の川 ③ 片桐神社 大井

清流苑ほたるの会

清流苑ほたるの会は、平成18年に自然環境の保全、蛍を通して町民や清流苑を訪れる方の憩いの場にできればという思いから始まりました。メンバーは11名で、これまで蛍を守る活動を行ってきました。

清流苑の向かいを流れる川にはもともと蛍が生息しており、数を増やすことはできないかと蛍が住みやすい環境作りに取り組みました。温かい水を好むため、付近の立ち木を伐採し日光が当たるように工夫をしたり、幼虫の住み家となる池を増設し整備しました。さらには、蛍の幼虫の餌となるカワニナを町内の河川へ採取にも行きました。蛍は

自然に増やすことが難しく、清流苑の協力のもと自然から採取した幼虫を水槽で飼育したりもしました。

蛍の増やし方や飼育の勉強に辰野町や新潟県上越市へ見学に行きました。水路に石灰岩を敷き、蛍の幼虫の餌となるカワニナが増えるような対策がされていました。餌が増



えなければ蛍が増えないということを参考に、自分たちが整備している区画へも石灰岩を敷いたり、水温を上げる工夫もしました。

「蛍は自然が豊かな場所ではないと生息することはできません。蛍と聞くとふるさとをイメージします。町民の憩いの場、そして清流苑を訪れる方に田舎の自然と美しさを感じてもらうことができればと願い、日々活動をしています」と、代表の湯澤徳晴さんがお話ししてくれました。

活動は仲間たちで年間を通して、池の水、水路の管理、水温を記録したりしています。また、北小学校で行われている蛍の授業で生徒たちと交流を行ったりもしています。蛍が増えてくれることが活動のやりがいであり楽しみです。また、活動後に皆さんで集まって、清流苑で慰労会を行うことも一つの楽しみになっています。

北小学校の蛍の取り組み

昔は北小学校の敷地やその周辺で蛍が見られたことからこの取り組みは7年前から始まりました。

当時学校の敷地内の水路は30センチ近く泥が堆積し悪臭が漂う状況でした。PTAの環境整備作業で堆積した泥の除去と、生い茂っていた黄菖蒲の株を取り除くなど、水路を大段的に整備しました。

清流苑ホテルの会の皆さんに水路や周辺の環境を見ていただいたり、石灰岩を水路に敷くお手伝いをいただきお世話になってきました。

翌年から4年生の総合学習として取り組むことになりました。だんだんと蛍の幼虫の餌



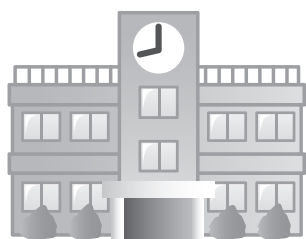
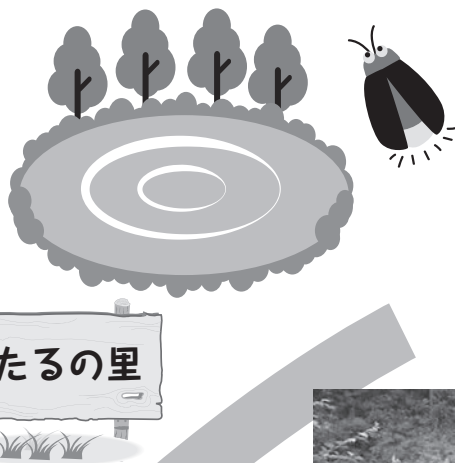
となるカワニナが増えてきました。石灰岩の上に黒ゴマをまいたほど小さなカワニナがついていました。肝心の蛍で

すが数匹程度でした。蛍が飛び交うのにネックとなるのが町営グラウンドの照明でした。明るすぎて自分たちの思っている水路周辺では蛍の舞う姿は見えませんでした。そんな

折、蛍の取組を知った地元企業のご厚意で遮光ネットを設置していただきました。また蛍の舞う時期は水路上の街灯を消灯したりして舞う環境は少しずつ良くなってきました。そのかいがあつて少しずつ蛍が舞う様になり多い年は一夜で20匹近く見られた年がありました。

水路の水温を測ったり、カワニナの状態を観察しています。秋には近くの山にホウ葉を採りに行きます。年に数回水路の掃除やカワニナの好きなホウ葉を沈めたりしています。3月にはお世話になった方々や3年生をお招きして報告会をしています。その時3年生にホウ葉を渡して引継ぎをしています。

今年の蛍の観賞会は6月28



北小学校

ほ・ほ・ほたるごい

家のまわりではあまり見ることができなくなった蛍。

きれいな水や草木のある自然環境の良いところで生息すると言われていますが、蛍を守ろうと取り組んでいる団体の活動を紹介します。



今年、4月に片桐松川に鯉のぼりを飾った後に地元の子ども達に蛍の幼虫約200匹を放流してもらったそうです。蛍の幼虫は有志数名で産卵から飼育を行ったもので、幼

虫を育てる苦労に話が弾みました。『産卵させるのはさほど苦労しないが、幼虫になってからの世話が大変、餌となるカワニナを採りに行くが、幼虫の成長に合わせたサイズのカワニナを採る、大きいカワニナは小さく刻んであたえる。夏場飼育槽の水温が25度以上に上がらないように水を凍ら

た。東南側が山の傾斜下に小さな小川あり、北側が田んぼや畑が広がるわずかな場所です。『昔はこのあたりは田んぼで蛍が舞っていた。』と話して下さいました。最初は有志5人でこの場所の整備を始めたそうです。2010年4月に『ほたるの里』として地元の壮年団と一緒に整備をし、石灰岩を入れたり、堆積した砂を取り除いたり、山の下草狩りなどしてきている様です。ここは源氏蛍だそうです。



『産卵させるのはさほど苦労しないが、幼虫になってからの世話が大変、餌となるカワニナを採りに行くが、幼虫の成長に合わせたサイズのカワニナを採る、大きいカワニナは小さく刻んであたえる。夏場飼育槽の水温が25度以上に上がらないように水を凍ら

見頃は6月初旬から6月20日頃で毎日の様に確認に来ているそうです。見られるようになると一夜に100匹ほど見られることもあるそうです。地区の皆さんにお知らせして各家庭で見に来てもらいます。シーズン中メンバーの

せたペットボトルを入れて気をつけている。』と管理の大変さを話してくれました。一匹のメスが500個くらいの卵を産み孵化するが、成長は小さいのから大きさがマチマチで、途中で死んでしまったりと悪戦苦闘して世話をしていると話されていました。

皆さんは夕涼みがてら、三々五々見に来ている様です。皆さんは蛍以外にクリン草群生地へと夢を膨らませておられました。少し下流の道路沿い、竹藪で生い茂っていたところを整備して、クリン草の株が植えられていました。花のシーズンには終わりに近づいていましたが、黄色やピンク、白の花を咲かせていました。お話を聞いた五人衆は本当に楽しそうに話をしてくれました。この場所が皆さんのあそび場となっている様でした。



日に行いました。もう終盤でしたがその夜は10匹近い蛍を見ることが出来ました。これからは北小学校の構内に蛍が見られるように取組んでいきたいと思っています。

まつかわ大橋

松川自治会内にある

『ほたるの里』を尋ねて

6月5日夕方に訪問しまし

た。

した。

虫を育てる苦労に話が弾みま

片桐松川

天竜川

宮ヶ瀬橋



温水プールで授業を受ける児童たち

水泳の授業を 温水プールで



北小学校

夏は学校の授業で水泳があります。北小学校では今年度の水泳を清流苑の室内温水プールで実施しています。

この取り組みについて北小学校の山寺政幸学校長にお話をうかがいました。



北小学校 山寺校長

老朽化と維持管理

北小学校のプールは昭和50年代につくられ、およそ40年経過しています。ここ数年、ポンプやろ過装置など、毎年必ずどこかしら故障が起きるようになり、修理など繰り返ししてきました。こうした老朽化と維持管理の問題などが毎年あることから、どうにかならないか検討していました。

試験的に実施

そのような中、清流苑の室内温水プールが利用できないかという案が上がり、学校や教育委員会、清流苑とで相談を重ねてきました。授業日数や温水プールの利用状況など鑑みたところ実施可能という

ことで、今年度は試験的に行っています。6月28日から9月上旬まで各クラス8回水泳の授業ができるよう計画しました。

今年度は例年通り夏の間に水泳を行います。室内温水プールなら季節を問うことなく水泳ができるので、冬でも授業ができます。今年度はさまざまな可能性や問題点などを探りながら授業を進めています。



つくられておよそ40年の北小学校プール

清流苑職員の伊藤係長にもお話をうかがいました。

一般客も通常通り

利用可

室内温水プールには6コースのプールや幼児用の浅いプールなどがあります。低学年には浅いプールも開放していますが、基本的には6コースあるプールのうち3コースを授業で使い、残り3コースは一般向けに確保しています。



清流苑 伊藤係長

そのため、児童たちが授業で温水プールに来ていても一般のみなさんが利用することは可能です。

また、温水プールでは一般向けの水中運動教室を開いています。これらの一般向けの教室がないときに学校の授業で使ってもらうように日程を調整しています。

気になるあれこれ

学校と温水プールの送迎は、今年度は清流苑でバスを出しています。

また、授業の監視体制は学校職員に清流苑職員も加え、必ず複数で行っているということです。



題する
問える
考える
人権を
仲良く

松川中学校
2年生

道徳の授業の感想より

道徳「命が生まれるそのときに」、内容項目「生命の尊さ」

フォトグラファー^{しげのぶ}繁延^{しげのぶ}あず
さんのエッセイを読み、「生
きている」と感じることに、「生
について考えた授業です。」

最初に阪神淡路大震災の映
像を見て、そこからみんなが
思う生きている瞬間について
考え、その後、繁延さんのエッ
セイを読み「生きている」に
ついて考えました。

*今までは、なんとなく当た
り前のように生きてきたけれ
ど、「生きている」のは、当
たり前ではないということ
が、今日の授業であらためて
わかった。

*僕の祖父は、一人は事故で
一人は病気で亡くなりました
た。事故は突然死んでしまっ
てとてもあわただしかったそ
うです。でも、病気で心か
まえは出来ませんでした。

日常が幸せに感じられるよう
に生きていきたいです。

*今日の授業をやるまでは、
あまり日常の中で「生きてい
る」と感じたことも、考えた
こともなかったもので、当たり
前のことが毎日のようにある
のはとても幸せなことだと思
えた。当たり前がある日突然
になくなるのは怖いと思っ
た。

*「生きている」と感じるこ
と、「生きる」という行為そ
のものが当たり前の作業のよ
うになっているから、「生き
ているな」と感じるるとき
は、その作業が乱されたとき
に感じると思った。当たり前
と違って生活をしていても、
死に直面した時に「生きる」
というのを感じるかもしれな
いと思った。

*人がいつ亡くなってしま
うのかはわからないし、突然の
事故で亡くなったり、急に病
気で亡くなったりするかもし
れない。今、周りで一緒にい
る人と1分1秒を大切に
して、生きていることは奇跡な
んだと思いつつ毎日を生きて
いきたい。

松川町今昔

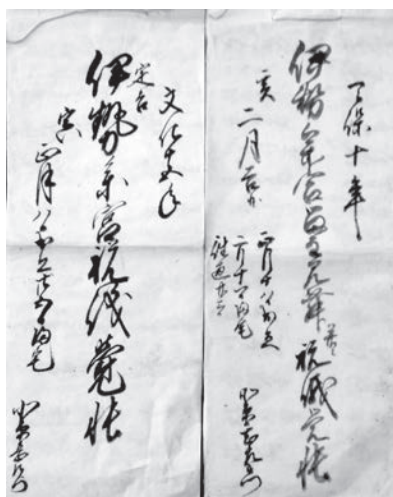
資料館だより
◆第58回◆

「江戸時代の祝儀・見舞帳」 (その2)

前回取り上げた「伊勢参宮
祝儀覚帳」は5冊ほどあり、
江戸時代のもものが4冊、大正
時代のもものが1冊あります。

その表紙を見るといろいろ
なことがわかります。帳面の
タイトルは「伊勢参宮祝儀覚
帳」が基本ですが、伊勢参宮
以外に金毘羅参詣も書かれて
いる帳面があります。上片桐
を出立して伊勢神宮のみ行っ
たのか、さらに金毘羅神社へ
も参詣したのか、そのほかの
ところにも寄つてきたのか、
いろいろなケースがありそう
です。

更に表紙を見ると、帳面を
書いた北原甚左衛門の子ども



で、参宮者の名前が書かれ
ている帳面があります。文
化15年(1818)は定吉・
文政2年(1819)は於
寿美・天保6年(1835)
は良吉などです。天保10年
(1839)は書かれていま
せん。さらに見ると、出立
した日や帰宅した日なども
書かれています。定吉は18
日かかっていますが、於寿
美は1か月かかっています。
す。良吉は金毘羅大権現へも
行ったので1か月と10日
です。さらに天保10年の帳面
には、「伊勢参宮留主見舞并二
祝儀覚帳」と書かれており、
参宮した人へのお祝いにと
も、留守番への見舞いも受納
していることがわかります。
そして表紙をめくって贈ら
れたものを見ると、二つの大
きなまとまりがあります。一
つは餅類などの食べ物です。
牡丹餅・あん餅のほ
かにはおはぎ・赤飯な
どが贈られています。
す。さらに帳面を見
ると、かなり多いの
は魚類です。あさ
り・するめ・石持(シ
ログチ)という海水
魚などがたくさん
書かれています。伊



勢参宮など村でどのくらい
の人が行ったのか、帳面の残
っている家が少ないのでわ
かりません。

「伊勢参宮祝儀覚帳」とと
もに前回紹介した「痘瘡祝儀
請覚帳」や「痘瘡見舞覚帳」
も贈られた品物を見ると、餅
類・魚類が中心です。餅類等
ではまんじゅう・せんべい・
菓子などがあり、魚類では
鯛・鰯・鯖・鰯など多く書
かれています。婚礼や出生の
祝儀の帳面に多く書かれてい
るお金や切手(商品券)はあま
りありません。また時代が下
るにしたがって、贈るものが
品物からお金に変わっていく
ことは、この二つの種類の帳
面からはわかりません。

松川町資料館

伊坪 達郎

スポーツ結果

第38回長野県小学生陸上競技大会

男女混合4×100m

第1位



53秒31

松川陸上クラブ(A)

宮澤 佑菜
林 かれん
柳 美結
榎本 昊

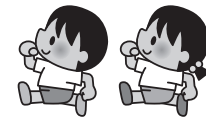
第3位



54秒13

松川陸上クラブ(B)

藤本 心美
鈴木 梨夏
松村 大輝
岩下 隼絆



第110回飯伊地区 春季剣道大会

個人戦

小学生5・6年女子の部

1位 松澤 琴美

中学生3年の部

1位 島田 太陽

第63回 南信地区剣道大会

団体戦

小学生高学年男子の部

1位 松川A

先鋒 熊谷 俊佑

次鋒 松澤 琴美

中堅 平島 康貴

副将 酒井 優

大将 山下 凛太郎

第54回下伊那郡体育協会 マレットゴルフ大会

男性の部

優勝

高森町 湯沢三千男

準優勝

松川町 中山 良男

女性の部

優勝

松川町 西澤 清子

準優勝

松川町 市瀬 愛子

情報

金澤泰子 講演 ダウン症の娘と共に生きて



翔子さんの書でパワーをもらってください!!
泰子さんの講演で、子育ての幸せを・命の大切さを感じてください。
こんな時期だからこそ聞いて欲しい講演です。

席上揮毫 ダウン症の女流書家 金澤翔子

日時 8月21日 13:30~受付 検温・手指消毒・マスク着用 会場 松川町 町民体育館 トレーニングルーム
お申し込み: 松川中央公民館 ☎36-2622

人形劇がやってくる!
in 上片桐改善センター
(長野県 下伊那郡 松川町 上片桐 2250)
人形劇 2021/8/8(日)
出演: 人形劇ちんどん
演目: トラックとらすけ
開場 13:00
開演 13:30
入場 無料!
※お問合わせ※
松川町中央公民館
(36-2622)
共催/上片桐地区公民館



オリンピック聖火ランナー

菅沼 晃さん



聖火を手に笑顔で走る菅沼さん

コロナ禍ということもあり、ソーシャルディスタンス等にも注意しながら走りまわった。沿道の方々が手を振ってくれたり、話しかけてくれたりして、オリンピックを待っている人がたくさんいることを実感。家族も来てくれて喜びを分かち合えたそうです。オリンピックに関わることが光栄だと語ってくれました。



前の走者から聖火をリレー

菅沼さんは4月1日に佐久市で行われたオリンピックの聖火リレーを走られました。きっかけはテレビ等でのCM募集で、当時はコロナ前だった為、走れるのならばぜひ走ってみたいと思い応募。農業を営む菅沼さんは、若い人にも農業に関心をもってほしいとの思いがあり、選考を受け走ることが決まったそうです。当日はちゃんと走れるかどうか不安で緊張していた、コ



ご家族とともに

実際に走った時に使用したトーチが自宅に飾られており、意外と重くてさすがオリンピックの象徴だと思いました。聖火はオリンピックの期間中灯され続けます。選手たちを見守る灯を聖火ランナーとしてつなげた菅沼さんは本当にいきいきと見えました。トーチやユニフォームは公民館にも展示される予定なのでぜひみなさんも一度見に行ってみてください。



ほたるの夢

松川北小学校四年

松下 葵衣

きょうの5・6時間目のほたるのことで、がんばったことがいろいろあります。それはさいしょの力ワニをさがすときに、みんなと協力しながら、力ワニをさがせま

した。
次はそうじをしたことです。たくさん落ち葉が落ちていたけれど、ちゃんとさいごまでそうじができたのでよかったです。



俳句

風の電話

西澤 清子 (中荒町)

現世をなだめる如く

淑氣満つ

逝きし友

「風の電話」に託す春

珈琲の香に

微睡の浅き春

もみじ湖と

共に幾とせ道祖神

時の奏余韻も更けて

夜長かな





・予約はインターネットで、娘に手伝ってもらいました。

予約

・母が車椅子のため集団接種会場が広くてよかったです。

・靴の履き替えがなく入れるのは良かった。

・会場の流れがスムーズで良かった。

会場

6月8日 名子原体育館
ワクチン集団接種会場取材

声

コロナに負けない!

松川のいま

・予約は電話で、8回目です。
・ネット予約システムに入るまでに難しすぎて年寄りには無理だに。

接種

・接種は痛くもなく今のところなんともない。
・2回目の接種の時の副反応が心配だ。
・ワクチン接種について、心配はあまりありませんでした。

取材の感想

会場は30分間隔の予約人数に合わせて、スムーズに接種できるよう作られています。
予定の時間より早く来場される方がいらっしゃる様ですが、予約時間までは接種できませんし、余計な密が生まれます。
他の皆さんの為に予約時間とルールを守って接種会場へ行きましょう!



「炭で焼く串ものや、地元の食材を使った料理が売りでリニューアルしてからはお客さんも増えました。どこの飲食店も頑張っています!少しづつ応援していただければと思います。」

コロナ対策も兼ねて5月にリニューアルオープン。ソーシャルディスタンスを意識してアクリル板を設置。換気ができるような工夫もし、対策万全です。

「コロナが松川で出るまでは感じなかったが、近くで出ると身近に感じました。団体客はなくなり、少人数の友達同士や家族連れがほとんどでした。」

だんだん好きになる店
よかよか

夜間ソフト開幕

6月22日2年ぶりに夜間ソフトボールリーグがコロナ対策特別要綱により開幕しました。Aリーグは9チーム・Bリーグは7チームとなります。

運営委員長

『今年はやりたい声が多く運営委員会で悩み、特別要綱にそって開幕することができました。』

選手の皆さん

・特別ルールではあるが、ソフトボールができるようになりうれしい。
・体が重い!久しぶりにボールを投げたがもう肩が痛い!

・当面試合後の慰労はないが我慢するしかないが、まあこうやって集まってソフトができることはうれしい。

皆さん笑顔で2年ぶりにできる試合を楽しんでおられました。



ぺこ草

私は内向的な性格でピカピカ太陽の下で汗をかくことが好きでない。室内で静かに本のページをめくり...

「えっ!それって

誰のこと言ってる?」

などと言う影の声はおいという誰が何と言おうと私は一人が好き。

皆が寝静まった深夜。録画したドラマを観ていた時、何か聞いたことのない音がするよう。少し不安になって玄関へ行き冷蔵庫・洗濯機・乾燥機・換気扇など確認して元の場所へもどると、やっぱりあの音が聞こえる、それもすぐ近くで。ハハア!と思うコタツをのぞくと愛猫ももの爆睡姿。

「ウソでしょーっ!」

夜中にもかかわらず大きな声を出してしまいました。

不安になった異音の正体があるもののイビキだったなんて!

猫との生活は何十年もしてりけど新鮮な驚きでした。

宮下 和子

公民館報

「まつかわ」

第692号

令和3年7月15日

発行所 松川町公民館

責任者 山崎 隆

編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷株式会社

再生紙を使用しています。